

# 週間感染症情報

2024年10-11週 2024年3月4日より2024年3月17日まで

10週 11週

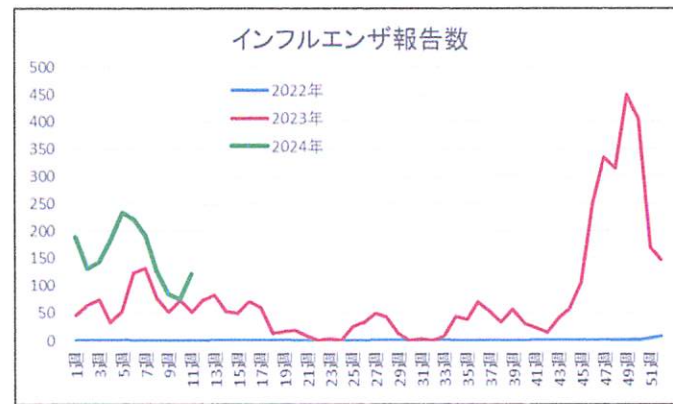
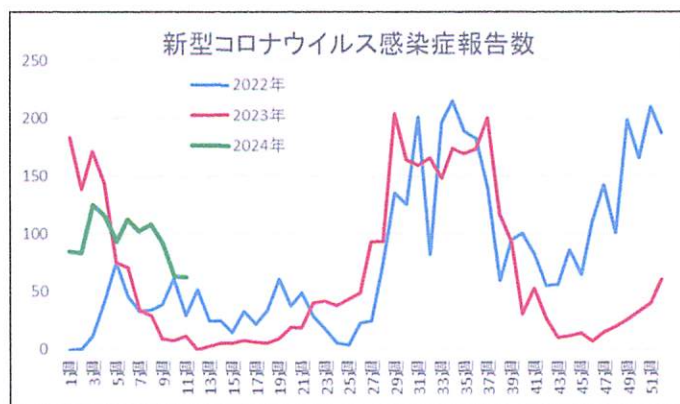
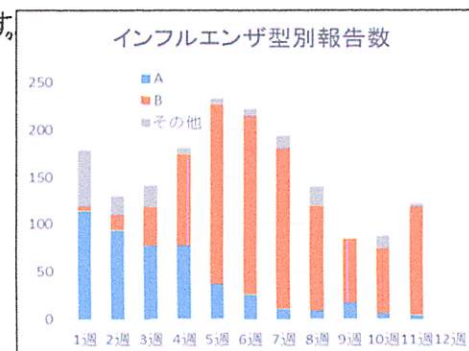
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	8	8
手足口病		
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	59	52
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	2	
伝染性膿痂疹(とびひ)	2	2
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症		3
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	87	122
インフルエンザ A	6	5
インフルエンザ B	69	113
新型コロナウイルス感染症	63	62

2024年10-11週の2週間の報告です。右下のグラフの様に新型コロナウイルス感染症の報告は減少傾向です。小児例は少なく、成人例が多いです。また、介護施設でのクラスターも発生して入院例も出ています。高齢者はワクチン接種率が高いので重症のコロナ肺炎例は少ないですが、脱水になり輸液が必要となる方や肺炎で抗菌剤が必要となる方があり、早期の医療対応が対応が大切です。4月より新型コロナウイルス感染症としての特別措置がなくなり、ワクチンは有料となり、医療費も自己負担が増えます。これから人の移動が多くなります。密な環境ではマスクを着用して感染しないことが大切です。インフルエンザは2023年はほぼA型の報告です。1月に入りB型の報告が増えて、5週をピークに流行の山は越えました。しかし、11週にになり再び増加しています。A型とB型と2回感染する例が多いです。溶連菌感染症は、大人の症例もみかけます。風邪症状のない場合は咽頭をみて必要な場合は検査をして下さい。劇症型溶連菌感染症の報告も増えていきます。

体調不良の場合は休み

手洗い・換気に努めて下さい。

医療機関・密な環境・公共交通機関では  
マスクの着用をぜひお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )